

# 「指導員アンケート」の まとめ

編集部

\*回答いただいた方のお名前、地域名は掲載して  
いませんが、回答の性質上、必要なもののみ、  
運営主体を付記しています。



にに応じて自主的に水分補給を  
行ってくれるようになりまし  
た。

◇「手を洗わなかったらコロナ  
になるよ」など、恐怖心をあ  
おるような言い方は意識して  
避けています。

◇子どもと確認したルールを、  
保護者にもお手紙で配布し、  
情報共有に努めた。

回答では、日常生活に必要  
なこと、その必要性を子ども  
自身が納得し、身につけてい  
けるように配慮・工夫する様  
子が寄せられました。

## 〈おやつ・昼食〉

「個包装のものに変更」「水  
筒の持参」「当面、手づくりを  
中止」「テーブルにつき人数を  
少なくして、向かいあわせを  
避けて座り、おしゃべりはし  
ない」を行ったところが多く  
ありました。

るも多くありました。

◇「自分の身を守る、そして  
他人も守ること」を子どもた  
ちと確認しつつ、感染症対策  
に取り組みました。

◇基本的にはマスクを着用し  
たうえで、熱中症や酸欠のリ  
スクも子どもに伝え、動いて  
いて息苦しいときなどは外す  
ように伝えていく。

◇遊びの際は過剰な言葉かけ  
を避け、換気など環境面での  
対応を心がけた。

◇「ていねいに説明することで、  
「水分補給の時間だよ」と声  
をかけるだけで飲んでくれる  
ようになったり、自分の体調

回答の一部をご紹介します、「学校  
『臨時休業』中の学童保育の様  
子と課題として見えてきたこ  
と」をまとめます。

## 学童保育での生活づくり、 感染症対策の取り組み

〈感染症対策〉

マスクの着用、手洗い、う  
がい、検温、換気、共用部分  
の消毒などの基本的な感染症  
対策は、すべてのところで取  
り組まれていました。「新型コ  
ロナウイルス感染症」につい  
て学んだり、学童保育で一日  
過ごす理由を子どもたちとた  
しかめあう機会を設けたこと

本誌のモニターおよび連絡  
協議会を通じて呼びかけた指  
導員の方々に協力していただ  
き、アンケートを行いました。  
内容は、「学童保育での生活の  
様子」「感染症対策の取り組み」  
「子どもたちの様子」「利用を  
自粛した家庭との関わり」「保  
護者との連携・協力」「担当課  
との連携・協力」「学校や関係  
機関、地域からの支援、連携・  
協力」「今後の課題」「指導員  
の仕事について思ったこと、  
考えたこと」(自由記述)。二  
〇二〇年七月一七日の時点で、  
二二三件の回答をお寄せいた  
だきました。



そうした状況のなかでも、「リクエストおやつの実施」「昼食は『青空弁当』と称して、グラウンドや中庭で食べる」など、子どもにとって栄養面や活力面から必要とされるおやつや食の時間が楽しいものになるように工夫している様子も寄せられました。

### 〈遊び〉

多くのところが「外遊びを積極的に取り入れた」と回答していましたが、室内だけで過ごさざるを得なかったところ、「外遊びは禁止」としたところもありました。

遊びの内容や道具は、制限を設けている、感染症対策を行いつつできるだけ制限していない、に分かれました。

◇折り紙の使い方が少し豪快かな……と思うこともありましたが、「ダメ」「やめて」は

言わずに、見守りました。

◇ブロックを一人ずつ使用できるように袋で小分けにし、折り紙、ぬり絵なども袋詰めして各自に渡した。

◇集団でふれあうような遊びは避けています。

◇トランプ一枚一枚、ブロック一つひとつを完全には消毒できない。換気、手洗いがいい、マスク着用を心がけて、遊びはいつもどおりとした。

◇学校で禁止されている「サッカーやオニごっこをしたい」という希望が多く出さ



れます。サッカーボールを追いかけるのは一人だけ、オニごっこはエアタッチなど、学童保育でのルールをつくりま

した。

◇室内ではマスクを着用し、密接や向かいあうことを避けられるように机を配置し、遊具は消毒可能なもののみを選別した。遊びの内容によって部屋や時間を区切った。

◇校庭の草原にブルーシートを敷いて、草花を集めてままごと、花見をしたり、カードゲームを楽しんだ。

なお、指導員の合意形成を図ることについて、つぎのような声も寄せられています。

◇マスクの着用、激しい遊びをどこで止めるか、密着しているときにどこまで声をかけるかなど、指導員間でも考え方が異なった。子どもと実際に関わり、同僚の

対応を見ながら、各自が大

事に行っていることや迷うことを話しあい、着地点を探すことのくり返しでした。

### 子どもたちの様子

つぎのように多様な状況が多く寄せられています。

◇利用自粛期間中に学童保育に通うことに引け目を感じている様子がうかがえたので、「どうして学童保育があるのか」を話し、「遠慮することではない」と伝えました。安心してほしかった。

◇「○○ちゃんの卒業式の服見たかったな……」。出席できなかった在所生の言葉にせつなくなりました。

◇当初は楽しそうに生活していましたが、しだいに無気力になっていったように感じました。イライラしたり、いやな

つづきは本誌をくらんどください

